

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】令和1年11月7日(2019.11.7)

【公開番号】特開2019-55317(P2019-55317A)  
 【公開日】平成31年4月11日(2019.4.11)  
 【年通号数】公開・登録公報2019-014  
 【出願番号】特願2019-5527(P2019-5527)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【 F I 】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和1年9月20日(2019.9.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技領域に対して遊技媒体が順次に発射される発射手段と、  
 閉状態と開状態との間で動作可能な開閉部材を有し、該開閉部材が開状態にあるとき、  
 前記遊技領域のうちの特定の流下領域内にある遊技媒体を内部領域へと進入させる入賞口  
 手段と、

前記開閉部材による動作にかかる制御を行う開閉制御手段と、

前記開閉制御手段による制御によって開放された前記入賞口手段の内部領域に進入した  
 遊技媒体が特定領域に受け入れられたとき、遊技者に有利な遊技制御を実行可能な有利遊  
 技制御手段と、

前記遊技領域に対して発射された遊技媒体を受け入れ可能な受入口と、

前記受入口に遊技媒体が受け入れられたことに基づいて抽選を行う抽選手段と  
 を備え、

前記入賞口手段は、

前記開閉部材が開状態にあるときに前記発射手段による遊技媒体の発射が継続される場  
 合、前記特定の流下領域内において前記入賞口手段の内部領域への進入待ち状態とされる  
 遊技媒体の流下速度を減速させることを可能とする媒体減速手段を有し、該媒体減速手段  
により遊技媒体の流下速度が減速されているなかで前記開閉部材が開状態にされる場合、  
 前記進入待ち状態とされる遊技媒体を前記入賞口手段の内部領域へと進入させ、

前記開閉制御手段は、

前記抽選手段による抽選において特定の結果が得られた場合、前記開閉部材を複数回前  
記開状態とすることが可能であり、該複数回の前記開閉部材の開状態には、前記媒体減速  
手段によって前記進入待ち状態とされる遊技媒体が必ず前記特定領域へと誘導されるよう  
に前記開閉部材が開状態とされる特別開状態が含まれる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0007】

手段1：遊技領域に対して遊技媒体が順次に発射される発射手段と、

閉状態と開状態との間で動作可能な開閉部材を有し、該開閉部材が開状態にあるとき、前記遊技領域のうちの特定の流下領域内にある遊技媒体を内部領域へと進入させる入賞口手段と、

前記開閉部材による動作にかかる制御を行う開閉制御手段と、

前記開閉制御手段による制御によって開放された前記入賞口手段の内部領域に進入した遊技媒体が特定領域に受け入れられたとき、遊技者に有利な遊技制御を実行可能な有利遊技制御手段と、

前記遊技領域に対して発射された遊技媒体を受け入れ可能な受入口と、

前記受入口に遊技媒体が受け入れられたことに基づいて抽選を行う抽選手段とを備え、

前記入賞口手段は、

前記開閉部材が開状態にあるときに前記発射手段による遊技媒体の発射が継続される場合、前記特定の流下領域内において前記入賞口手段の内部領域への進入待ち状態とされる遊技媒体の流下速度を減速させることを可能とする媒体減速手段を有し、該媒体減速手段により遊技媒体の流下速度が減速されているなかで前記開閉部材が開状態にされる場合、前記進入待ち状態とされる遊技媒体を前記入賞口手段の内部領域へと進入させ、

前記開閉制御手段は、

前記抽選手段による抽選において特定の結果が得られた場合、前記開閉部材を複数回前記開状態とすることが可能であり、該複数回の前記開閉部材の開状態には、前記媒体減速手段によって前記進入待ち状態とされる遊技媒体が必ず前記特定領域へと誘導されるように前記開閉部材が開状態とされる特別開状態が含まれる

ことを特徴とする遊技機。

## 【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

## 【補正の内容】

## 【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

## 【補正の内容】